准看護師科

科目名称	社会と生活	学年学期	単位数	時間数
		2 学年前期		20
担当教員	山本　希	授業に関わる実務経験	□ 有（　　） ■ 無	

【1】 授業概要

看護者と患者との間柄を、根源的な「自己－他者」関係から哲学的に考察する。

【2】 学習目標

1.「自己の本質」と「ケアの本質」、いずれも他者との関係に根差していることを理解し、説明できる。

【3】 ディプロマポリシーとの関連性

■ 1. 生活者としての人間の理解
■ 2. 人間の生命、尊厳および権利を尊重した多様な価値観をもつ人間の理解
■ 3. 看護の基礎的知識・技術・態度の修得
■ 4. 科学的根拠に基づいた看護援助の実施
□ 5. 多職種との連携・協働
□ 6. 地域医療の理解と生活の支援
■ 7. 看護専門職としての主体的な学びの継続

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	イントロダクション	講義
2	「自分」とは何か	講義
3	「語ること」の意味	講義
4	「聴くこと」の意味	講義
5	「他者」の不可知性	講義
6	「自己」の不可知性	講義
7	「ケア」の場を拓く	講義
8	共同作業としての「ケア」	講義
9	「他者」への責任	講義
10	筆記試験　まとめ	

【5】 評価方法

1. レポート形式の試験を実施

【6】 教科書

教科書は使用しない。 適宜プリントを配付する。

【7】 参考書

村上靖彦　著 「摘便とお花見　看護の語りの現象学」 医学書院　2013 年
鷲田清一　著 「じぶん・この不思議な存在」 講談社現代新書　1996 年

【8】 受講生へのメッセージ